

別紙

温室効果ガス排出削減計画

氏名	(法人にあっては名称) 備前市		住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒705-8602 岡山県備前市東片上126番地	
本票作成	部署名：備前市 環境課				
主たる業種	分類コード	9	8	業種名：地方公務	
事業の概要	事業内容：地方公務 対象建築物数：117施設(病院、下水処理、廃棄物処理含む)				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	備前浄化センター		備前市久々井717-5	
	②	市立吉永病院		備前市吉永町吉永中563-4	
	③	備前市立備前病院		備前市伊部2245	
	④	日生病院		備前市日生町寒河2570-41	
	⑤	クリーンセンター備前		備前市八木山859-4	
⑥	吉永浄化センター		備前市吉永町吉永中388-1		
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 (●工場等の数 117 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)				

計画期間	平成22年度		～	平成26年度 (5箇年度)					
削減目標	いずれかを選択	<input checked="" type="checkbox"/> 総排出量基準	目標削減率 10.0 %	目標区分	20%以上	20～15%	15～10%	10～5%	5%未満
		<input type="checkbox"/> 原単位基準					○		
温室効果ガス排出量	基準年度(平成21年度)			目標年度(平成26年度)					
	9,570 t CO ₂			8,613 t CO ₂					
基準年度の主な工場等の排出量	番号	工場等の名称		基準年度(平成21年度)の排出量					
	①	備前浄化センター		1,481 t CO ₂					
	②	市立吉永病院		892 t CO ₂					
	③	備前市立備前病院		835 t CO ₂					
	④	日生病院		772 t CO ₂					
	⑤	クリーンセンター備前		667 t CO ₂					
⑥	吉永浄化センター		567 t CO ₂						

※ 「計画期間」欄には、5箇年度以内で特定事業者が定める期間を記入する。

(原単位基準の削減目標を選択した場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容	原単位当たり排出量	
		基準年度	目標年度
		CO ₂ / ()	CO ₂ / ()

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値 (年度)	達成率 (%)
指標の状況				

【目標削減率設定の基本的な考え方】

2008年度策定の備前市地域エネルギービジョンでは「2020年(エネルギー)需要量1990年比30%削減」を目標としている。この目標を達成するためには、民生業務部門で2010年から2015年の間にエネルギー消費量を10%以上削減することを計画している。また、省エネ法において、年間1%以上の省エネを求められており、備前市としては公共の担う責任として、その2倍程度の目標を掲げることが大切と考えている。そこで、2014年度末までに2009年度比でCO₂排出量を10%削減することを目標とする。

【目標削減率達成のための推進体制】

省エネ法に沿って、エネルギー管理統括者及びエネルギー管理企画推進者を定める。また、主要な施設の管理標準は2010年度中に作成し、その使用法に関して、施設管理者にレクチャーを行う。

【排出量削減のためのこれまでの主な取組】

工場等の名称	取組内容
備前市役所 本庁舎	2006年度にESCO事業を行う。2005年度に比べ27%のCO2削減
備前市 吉永支所	2006年度にESCO事業を行う。2005年度に比べ44%のCO2削減
備前市 日生支所	2006年度にESCO事業を行う。2005年度に比べ57%のCO2削減
特別養護老人ホーム 大ヶ池荘	2007年度にESCO事業を行う。2006年度に比べ37%のCO2削減
特別養護老人ホーム 亀楽荘 市民共同太陽光発電所	2006年度にESCO事業を行う。2005年度に比べ42%のCO2削減 2008年度に備前市内に市民出資を活用し、市内8箇所123kWを導入、年間約135,000kWh発電している。

【計画期間中に目標削減率を達成するために実施する措置】

工場等の名称	措置内容
主要50施設	CO2排出量が多い主要50施設で2010年度中に「管理標準」を策定し、施設管理者にエネルギー使用適正化のためのレクチャーを行う。施設管理者が設備の使用適正化を図り、毎年その運用を見直す(2010年度～2014年度)ことで(PDCAサイクル)大きな削減が図れると考えられる。(削減量：465t-CO2 主要50施設で9309 t-CO2(運輸除く)排出されており、5%が削減されると仮定)
備前市立備前病院	エネルギー使用合理化に焦点を合わせた建替(2011年度予定)により、現在より25%削減(削減量：208t-CO2)
電気自動車・ハイブリッド自動車等の積極導入	電気自動車・ハイブリッド車・BDF車を積極的に購入(2010年度～2014年度)することにより、現在より20%削減(削減量：52t-CO2)
備前市内老人福祉施設	備前さつき苑、備前市老人福祉センター、蕃山荘等の備前市内の老人福祉施設を順次設備改修(2011年度～2014年度予定)することにより、現在より25%削減(削減量：289t-CO2)

【森林保全等吸収源対策への取組計画】

県内での取組	有	2008年度に策定された、備前市森林整備計画に沿って、備前市内の森林保全を行う。
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入計画】

県内での取組	無	
その他	無	

【その他特記事項】

備前市は、平成17年度に環境省の環境と経済の好循環まちモデル事業に採択されて以来、環境政策に関して全国で最も先進的な取組を行っている。
ソフト事業としては、市民の協力のもと「備前みどりのまほろば協議会」を立ち上げ、環境に関する普及啓発活動を行っている。
ハード事業としては、全国でも殆ど行われていない中小規模業務施設におけるESCO事業(5ヵ所)の実施や市民出資を活用した市民共同太陽光発電所(123kW)の設置を行った。また2009年度には全国で20箇所の環境共生型住宅事業の一つに採択され、西鶴山小学校の近くに環境共生型住宅を建設し、地域の環境教育の場として活用している(月平均200人程が訪れている)。